



ひとひとひろば

<第21回>

「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」って何？

「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」とは、1994年にカイロで開かれた国際人口・開発会議のキーワードの一つで、生涯にわたる「性と生殖に関する健康と権利」と訳されているものです。

ここでいう健康とは、妊娠・出産に関わるすべての面において、個人、特に女性が単に病気や異常がないだけではなく、精神的にも安全で安定した生活を営める状態にあることを意味します。また権利とは、こうした良好な状態で子どもを産むかどうか、産むならばいつ、何人産むかを自分たちで決定する自由を持つことをいいます。

これは妊娠や出産、時には中絶など「産む、産まない」を自分の体で引き受けなければならない女性にとっては、とても大切な理念です。

現在、この「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」の視点から、女性の健康に対する教育、相談体制が整備され、思春期や妊娠・出産期、高齢期などそれぞれの課題に合った対応が進められています。



新潟薬科大学応用生命科学部

教授陣紹介



食品製造・食品工学研究室助教

藤井 智幸 さん

科を卒業した後、そのまま東京大学大学院へ進み、気が付いたら助手として教育・研究に携わっていました。

酸の合成反応を行いました。それから、超臨界二酸化炭素中での膜分離を世界で初めて成功させました。二酸化炭素の個体状態といえどドライアイスのことですが、圧力と温度が高くなると二酸化炭素は超臨界状態と呼ばれる状態になります。二酸化炭素は人体に対して安全なため、超臨界二酸化炭素の利用はグリーンテクノロジー（環境にやさしい技術のこと）の基盤技術と位置づけられており、コーヒーの脱カフェインなど食品製造に用いられています。

「ご出身はどちらですか？ 私の出身は岐阜です。松尾芭蕉が「おもしろつて やがて哀しき 鵜舟かな」と詠んだ長良川の鵜飼で有名な所ですが、ご存知でしょうか。この地で幼少時代を過ごした私は、岐阜高校から東京大学に入学し、農学部農芸化学

「これまでどのような研究をされてきましたか？ 一つはバイオリアクターに関する研究です。バイオリアクターとは生物機能を利用して反応を行わせる装置のことで、バイオ分野における有用なものづくりに必須のアイテムです。私は中空系膜（ストローのように中心が空洞になった細い繊維状の膜）を利用した新型のバイオリアクターを開発して、アミノ

酸の合成反応を行いました。それから、超臨界二酸化炭素中での膜分離を世界で初めて成功させました。二酸化炭素の個体状態といえどドライアイスのことですが、圧力と温度が高くなると二酸化炭素は超臨界状態と呼ばれる状態になります。二酸化炭素は人体に対して安全なため、超臨界二酸化炭素の利用はグリーンテクノロジー（環境にやさしい技術のこと）の基盤技術と位置づけられており、コーヒーの脱カフェインなど食品製造に用いられています。

授・バイオテクノロジーロジの先駆者として知られています。は、農芸化学のことを「世のため人のための学問」であつて「学問のための学問」ではないと説きました。私も新潟の地で教育・研究活動を始めるにあたり、あらためて坂口博士の理念を大切にしていきたいと考えています。

市民へのメッセージをお願いします。

広報十一月一日号の六ページに紹介されましたが、新潟の中学三年生の皆さんと遺伝子組換えの基礎について勉強しました。理科教育の現場にまで取り上げられた遺伝子技術は、生活のさまざまなところでますます利用されていくことでしょう。この基礎的な科学を私達と一緒に勉強しませんか。

新津市の人口

平成14年10月31日現在 前月比)	前年同月比
男 32,483 (+11)	(-24)
女 35,162 (+5)	(+99)
計 67,645 (+16)	(+75)
世帯数 21,345 (+27)	(+328)

10月中の動き

出生 41	死亡 47	転入 128
転出 106	結婚 26	離婚 13

身近な自然 豊かなカルチャー

花と遺跡のふるさと公園

新津市美術館

☎0250-25-1301
<http://www.city.niitsu.niigata.jp/>

新潟県埋蔵文化財センター

☎0250-23-1142
<http://www1.ocn.ne.jp/~n-maibun/>

新潟県立植物園

☎0250-24-6465
<http://botanical.greenery-niigata.or.jp/>